

圓滿寺だより

第85号

2021年1月

無量光



本年も宜しくお願い申し上げます



圓滿寺 住職 棘 惠淨
副住職 棘 惠真



令和3年度年回表



1周忌 令和 2年	25回忌 平成 9年
3回忌 平成31年	《27回忌》平成 7年
7回忌 平成27年	33回忌 平成27年
13回忌 平成21年	50回忌 昭和47年
17回忌 平成17年	100回忌 大正11年
《23回忌》平成11年	

年回表に基づき、貴家御法事に該当する御先祖を過去帳等でお調べください。御法事の日時等は、あらかじめ拙寺まで必ず連絡してください。

御法事は亡き人からいただくとても大切な御法縁です。忘れずに必ずお勤めいたしましょう。

【圓滿寺 〒553-0004 大阪市福島区玉川4-4-25 TEL 06-6441-2791】
HP(ホームページ)URL <https://fukusima-enmanji.org>

前坊守(法名・恵正院釋芳照、俗名・棘 照子)往生

11月24日、前坊守が100歳にて往生いたしました。ここ7年ばかり施設(グラウンド天王寺)でお世話になっておりました。24日14時半ごろに施設からTELが入り、「意識がないので救急車を呼びます。」と連絡が。すぐに病院へ駆けつけましたが、既に心肺停止とのこと。本当にあっけない最期でした。これという持病もなく、日々老いと共存しながら懸命に生き続けておりました。毎週施設に面会に訪れ、会話したことが懐かしく思い出されます。心残りは、ここ一年余帰宅させられなかったこと。コロナウイルスの問題があり、施設を出ることは禁じられていました。

思えばこの地に生を受け施設にお世話になるまで92年間を過ごしました。結婚前は戦中戦後の混乱期で、銀行に勤務したり、大阪府庁の職員となり副知事の秘書を勤めたりしていました。結婚後は圓滿寺坊守として前住職を支え、圓滿寺の護持発展に尽力してくれました。還暦を過ぎた頃から日本舞踊を習い始め、20年余精進しておりました。

二度目の骨折でもう歩けないと医師から宣告されましたが、自分でトイレに行くとの一心で骨折を克服し、補助具を使い歩けるようになりました。90歳を超えてのあの努力は子どもから見ても凄いと感心しました。

今はお浄土へ迎えられ、先だった方々と楽しく語り合っていることと思います。

「さだめてさきだちて往生し候はずんば、浄土にてかならずかならずまちまいられ候べし」(親鸞聖人御消息)

の通り、先に往生した人は仏となり、後から往く者をむかえてくださるのです。この世と別れたら、私たちの命はお浄土へ往生して先立ったたくさんの方々に再会できるのです。この世との別れ、親しい方々との別れは悲しく寂しいものですが、迎えてくださる方々がいらっしゃる世界はとても賑やかな世界かもしれません。

「なごりおしくおもえども、娑婆の縁尽きて、ちからなくしておわるときに、かの土へはまいるべきなり」(歎異抄第9条)

この世とさよならするとき、阿弥陀さまがお浄土に導いて下さるのです。力なくして終わる私たちですが、その私を引き受け、阿弥陀さまの力(他力)によってお浄土に往生させていただき、先立った人々と再会できるのです。

前坊守の一生を顧みつつ、改めてお念仏申しながら一生を過ごし、お浄土への道筋を歩ませていただくことの有り難さを身にしみて感じています。

最後になりましたが、生前中にご厚情いただきました皆様方には心から御礼申し上げます。有り難うございました。



合 掌

葬儀当日の山門

●法座の御案内●

圓満寺初法座

日時 1月16日(土)午後1時半

講師 本願寺派布教使 植木 政隆 師

講題 報恩の念仏

マスク着用をお願いいたします。ぜんざいの接待は只今検討中です。

コロナ禍での法要ですが、どうぞお参り下さい。

◆報恩講◆

10月26日(月)40名弱の御門徒が参詣され報恩講を勤めました。この度は住職と副住職のみで読経しました。安方哲爾先生のご法話「お浄土へ参る宗教」を聴聞。阿弥陀さまはお浄土を解れとおっしゃらないが、参れとおっしゃっているとお言葉が特に印象に残りました。お浄土は我々の小賢い知識で理解する世界ではなくて、参るべき世界なのです。命の行き先として無ければ困る世界なのです。私はどこへ往くのか。命の行き先を決めておくことが大切なのかもしれません。





門信徒の広場



◆秋のおみがき◆

10月16日に婦人会を中心に実施していただきました。本堂の仏具をピカピカにしていたいただき、心新たに報恩講を迎えることが出来ました。阿弥陀様への御報謝有り難うございました。

【御奉仕いただいた皆様】

荒木 和子様	片桐 久子様
木村美恵子様	小林 幸子様
信田 宣子様	中野 桂子様
広瀬 充恵様	榊木嘉壽子様



下記の方々がお浄土に往生されました。謹んでお念仏もうしあげます。

8・14 瓜生 康浩 様	11・20 橘 久次 様
8・27 高田 友成 様	11・28 石黒 敏秀 様
10・16 金谷 尚子 様	12・15 前田 廣子 様
10・29 中村 茂 様	



●門信徒ほのぼの通信● ～瓜生総代御往生～

圓滿寺総代として今井、西野の両総代とともに圓滿寺の護持運営にご尽力いただいた瓜生康浩総代が87歳にて御往生された。今年の1月の初法座には参詣されていたが、その後入退院繰り返され、最期はご自宅でご子息方に見守られ亡くなられた。元々は三重県ご出身で高田派と伺っている。

温厚なご性格で誰とでも打ち解けて会話される。長年婦人会でお世話になった母上(ヤスエ様)とよく似たご性格のようにお見受けした。早くに奥様を亡くされお一人での生活が長かった。しかし、地域の方々やたくさんのお知り合いと温かく交流を続けられた。

ご長男ご夫婦が康浩様の遺志を継承されている。どうかお浄土からあの素敵な笑顔で後に残った方々を見守っててください。

永代経懇志ご上納

◆田中愛子・美智子様 田中家総永代経懇志

◆金谷章成様 金谷家総永代経懇志

有り難うございました。圓滿寺護持のため大切にさせていただきます。